

証券コード：6549 ディーエムソリューションズ株式会社 代表取締役社長 花矢 卓司

第20回定時株主総会決議ご通知

2024年6月26日（水）開催の当社第20回定時株主総会におきまして、
下記の通り報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第20期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第20期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 定款一部変更の件
第3号議案 取締役6名選任の件
第4号議案 監査役3名選任の件
以上

会社情報（2024年3月31日現在） About us

会社概要

商号	ディーエムソリューションズ株式会社	従業員数（連結）	正社員313名、その他252名
証券コード	6549	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ダイレクトメール及び宅配便の発送をワンストップで行う発送代行事業 Webマーケティングサービス及び自社メディアサイトの運営等を行うインターネット事業 ECサイトによる衣料品及び雑貨の卸販売を行うアパレル事業
設立	2004年9月15日		
資本金	3億6,531万円		
本社所在地	東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F		

役員（2024年6月26日現在）

代表取締役社長	花矢 卓司
取締役副社長	福村 寛敏
取締役	勝山 純一
取締役	木村 和央
取締役	小林 剛司
取締役 ^{※1}	松藤 悠
常勤監査役 ^{※2}	宮本 則昭
監査役 ^{※2}	齋藤 哲男
監査役 ^{※2}	高見 之雄

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

拠点情報

愛知県 <ul style="list-style-type: none"> 名古屋営業所 名古屋メールセンター 	宮城県 <ul style="list-style-type: none"> 仙台営業所
大阪府 <ul style="list-style-type: none"> 大阪営業所 大阪メールセンター 	東京都 <ul style="list-style-type: none"> 本社 三鷹メールセンター 八王子第1メールセンター 八王子第2メールセンター 八王子第3ロジスティクスセンター 八王子第4フルフィルメントセンター 八王子第5フルフィルメントセンター 日野フルフィルメントセンター
福岡県 <ul style="list-style-type: none"> 福岡営業所 	神奈川県 <ul style="list-style-type: none"> 横浜営業所



ディーエムソリューションズ株式会社

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F



Business Report

ディーエムソリューションズ株式会社

2024年3月期 事業報告書 2023年4月1日～2024年3月31日

特集 トップインタビュー



ロジスティクスとマーケティングの力で
世の中に必要とされるモノと情報を届け
豊かな未来に貢献する

お客さまが求める「ソリューション」をリアル×ネットで創出する。



IRサイトのご案内

当社は、株主・投資家の皆様にタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、IRサイトの充実を図っております。ぜひ一度ご覧ください。

スマートフォンでIRサイトへ



Webで閲覧可能

当社の株主通信は冊子、Webどちらでも閲覧することができます。



ディーエムソリューションズ IR

検索

<https://ir-p.jp/dms/report/index.html>

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、今年1月の能登半島地震により被災されました皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

2024年3月期の事業活動と業績についてご報告させていただきます。当期におきましては、ウクライナ情勢の長期化や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰等により、経済、事業環境は、先行きの不透明な状況が続いていると認識しております。このような状況の下、当社は、19期連続増収となり、過去最高の売上高を達成、利益面でも、大幅な増益とすることができました。

事業別には、主たる事業であるダイレクトメール事業では、DM発送代行サービスが堅調に推移したことに加え、フルフィルメントサービスがハード面の強化、業務効率化が功を奏し事業規模を拡大することができました。インターネット事業におきましては、当期の重点施策であったEC関連サポート領域への体制整備が進展するとともに、バーティカルメディアサービスにおいて自社メディアが好調に推移し、利益回復に寄与しました。アパレル事業では、為替などの外部環境による影響を受けつつも、大量仕入や商品の輸送手段の見直しによるコスト削減と自社企画商品の販売が好調に推移し、利益率向上につなげることができました。

2025年3月期は、6月にフルフィルメントセンターとしては



初めての自社所有施設となる新センターを東京都国立市に開設します。今期もセンター新設に代表される将来成長のための投資をしっかりと行うとともに、業績成長も着実に成し遂げていく所存です。

株主還元は、当社グループの順調な事業成長を踏まえ、株主の皆様への配当での利益還元開始が可能と判断し、この度、配当を開始する方針といたしました。2024年3月期の期末配当は、1株につき12円、また2025年3月期は3円増配の15円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月吉日
代表取締役社長

花矢 卓司

● ● 目次 Contents

P.1 当社の事業領域

P.2 株主の皆様へ

P.3 特集/トップインタビュー

P.7 業績ハイライト

P.9 ディーエムソリューションズ ラウンジ

P.10 株式の情報
(株式の状況・所有者別株式分布状況・大株主の状況・株主メモ)

裏表紙 第20回定時株主総会決議ご通知
会社情報(会社概要・役員・拠点情報)

20周年の節目を迎え、 さらなる企業価値の向上に 邁進します。

当期の振り返り～2025年3月期の重点施策。
今後の成長戦略、株主還元方針について、
花矢社長にお話を伺いました。

Q. 2024年3月期の全体業績について教えてください。

3つのセグメントとも利益を大きく伸ばすことができ、前期比22%の営業増益とすることができました。

2024年3月期の売上高は、主力のダイレクトメール事業が好調に推移したことに加え、インターネット事業の利益回復、アパレル事業の利益確保が加わり、売上高18,207百万円

(前期比1.9%増)。営業利益は568百万円(前期比22.9%増)と利益率を高め、大幅な利益増とすることができました。

Q. 各事業の状況については、いかがでしょうか。

DM発送は、Web完結型の『セルマーケ』の取扱高が拡大。EC事業者の物流業務をアウトソーシングできる『ウルロジ』が好調なフルフィルメントサービスが躍進。

ダイレクトメール事業では、主力のDM発送代行が堅調に推移。業界でも有数の発送件数となるスケールメリットを最大限に生かしながら、営業力と価格競争力の強さを存分に発揮できました。また、社内DX化も進み、DMの印刷から発送までをWebサイトで完結できるサービス『セルマーケ』の取扱高が拡大。月間約4,000案件のDM発送代行のうち、30%超をセルマーケをはじめとしたWeb受注が占めるまでになり、収益力が高まっています。

拡大を続けるネット通販ビジネスを注文から商品発送、代金回収までサポートするフルフィルメントサービスでは、EC事業者の物流業務をアウトソーシングできる『ウルロジ』が好調。業務効率の向上と収益機会の拡大を目的に導入した『オムニ・ソーター』(人間の3倍以上の生産性を誇る自動高速仕分けロボット)が、ECサイトでのオーダー受注から商品の発送までのスピード感を重視するお客さまの案件発注の決め手になるケースが顕著に増えています。



パーティカルメディアはライフスタイル全般を扱うサービス比較サイト『Collect』が牽引。デジタルマーケティングはコンサル案件の提案の質の向上で新規受注が増加。

インターネット事業では特定分野のWebメディアの企画・運営でアフィリエイト収入を得るパーティカルメディアサービスに注力。不採算サイトを削り、Googleの検索アルゴリズムのアップデート耐性の高いサイトづくりを強化し期初計画を上回る結果となりました。

特に、『Collect』(コレクト/美容、脱毛、婚活など、ライフスタイル関連サービスの比較サイト)が大きく成長し、この

サービスの軸になると期待しています。また、クライアントワークが中心のデジタルマーケティングサービスでは、クリエイティブ室を新たに創設し、縦割りだった制作部門のデザイナーを1つのチームに集約するとともに、Webコンサルティングサービスに人的資源を集中することで提案のクオリティが向上し、新規受注が増えました。

「ビアトランスポート」は米国のインフレと円安の影響が増大も品揃えや輸入方法の見直し、個人向け販売の開始で収益アップ。

アパレル事業では、3年前にM&Aで取得した服飾雑貨の輸入卸販売会社「ビアトランスポート」の商品ラインナップと輸入方法の見直しによってコストを削減。試験的に始めた大型ファッション通販サイトでの販売が堅調に推移したこともあ

り、利益率を高めることができました。米国のインフレと円安の影響は継続していますが、卸販売業から小売業へのビジネス展開にも十分な手応えを感じた1年でした。

Q. 2025年3月期の業績予想と重点施策について教えてください。

当期に続き利益率上昇、利益拡大に取り組み、5.5%増収、13.5%の営業増益を計画。創業以来最大の投資となる国立フルフィルメントセンターを6月に開設し、EC関連サービスのさらなる拡大を図ります。

2025年3月期の業績は、売上高19,200百万円(前期比5.5%増)、営業利益645百万円(前期比13.5%増)を見込んでいます。

最重要施策は、6月に開設する国立フルフィルメントセンターの稼働率を高めることです。EC物流専用拠点となる国立フルフィルメントセンターは、フルフィルメントサービスのさらなる拡大、充実を目的として、2023年9月に1,380百万円で土地建物を取得しました。既存のフルフィルメントセンター(日野/八王子第4/八王子第5)の稼働率が高い水準に達しており、また、当社物流拠点の多くが賃貸契約物件であることから、収益性向上の観点から新たな物流拠点を自社所有することを計画しておりました。

国立フルフィルメントセンターは、中央自動車道国立府中ICに

ほど近く、北側には甲州街道。高速道路と主要幹線道路へのアクセスが抜群で、この立地条件が取得のポイントとなりました。設立以来、最大の設備投資でもありますので、今後は強みである営業力をさらに磨き、EC物流に特化したフルフィルメントセンターとして稼働水準を高めていきます。そしてDM×フルフィル×インターネットのシナジーにより、EC関連サポートビジネスの拡大を目指します。



Q. 今後の成長戦略について教えてください。

DM発送・フルフィルメントサービス・ネットの多彩なインフラを保有する当社の強みを生かし、EC関連のビジネスを大きく伸長させる目論見です。

主軸のDM発送、拡大を続けるフルフィルメントサービスのビジネス基盤を拡大しながら、インターネット事業、アパレル事業とのシナジーを生かしてEC関連ビジネスを拡大させます。

すでに展開しているEC関連ビジネスの一例を挙げると、ECサイトの運用やショッピングモールへの出店、広告運用を行ってられるお客さまの課題を解決するビジネスです。これまで、インターネット事業のクライアントワークは、コーポレートサイトの企画制作やSEOコンサルティングを中心に受託してきましたが、その間にマヌカハニーの通販専門『BeeMe』をはじめとする自社運営のD2Cサイトが大きく成長。EC関連ビジネスに役立つノウハウと知見を社内に蓄積することができました。

今後はこれを生かして新規顧客の獲得を目指します。

EC関連ビジネスの魅力は継続性が高いことです。販売する商品がある限りサポートできるので収益アップも見込めます。競争は激化していますが、ECサイトの企画から制作、運用、商品の物流（フルフィルメント）、アフターフォローまでワンストップで手がけられる会社は他に類を見ません。また、拡大しているEC物流代行サービスの『ウルロジ』は、スタートアップ企業からの受注実績が多く、音楽グループやアニメなどのファングッズや絵画を扱う越境ECの支援実績もあります。価格競争力でも負けることはないと自負していますので、提案力を高めてビジネスを拡大します。

るには事業ポートフォリオの最適化が不可欠。既存のインフラを生かしたEC関連サービスへの投資は、そのための最も重要な成長戦略と位置づけています。

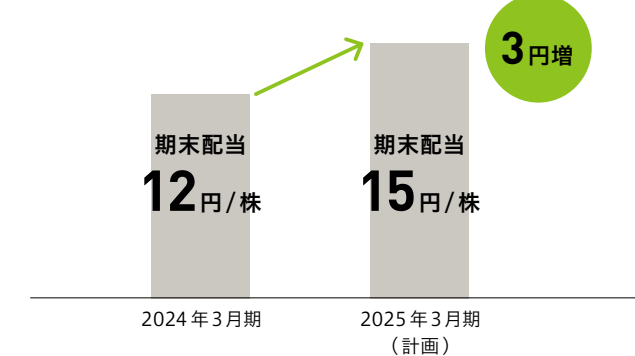
並行して各事業部との連携も強化します。主力サービスのDM発送代行は堅調ですが、EC関連サポートへの注力によって3年後には、DM発送代行とその他のサービスの売上構成比を50：50にしたいと考えています。持続的な成長を実現す

Q. 株主還元方針について教えてください。

業績が堅調に推移していることから当期から配当を開始。配当2年目となる今期は3円増配を計画。

当社では、上場来、企業価値の向上のために事業投資を優先し、配当実施を見送ってまいりました。しかしながら、コロナ禍においても着実に収益を上げることができ、ポストコロナとなった当期においても業績が堅調に推移し、収益力が高まっております。この状況を踏まえ、事業の成長投資を続けながらも、株主の皆様へ安定的、継続的な利益還元を実施することが可能と判断し、配当を開始することといたしました。初配となる当期は、1株当たりの期末配当金を12円とさせていただきます。2025年3月期末については3円増配の1株当たり15円の配当を計画しています。

● 1株当たり年間配当金



Q. 株主の皆様メッセージをお願いします。

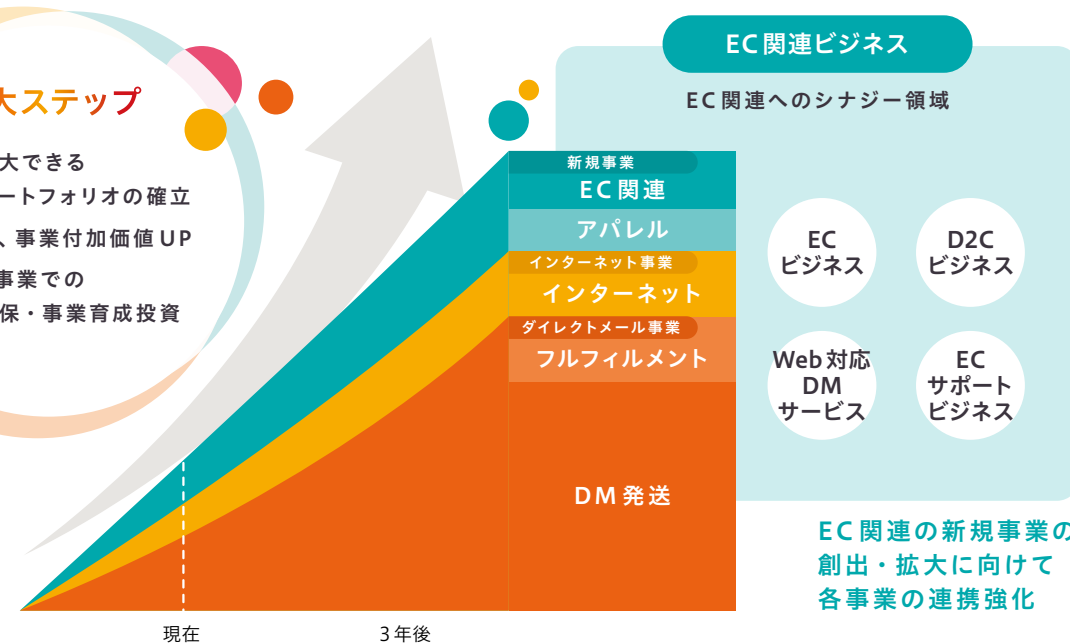
ロジスティクスとマーケティングの力を信じて挑戦を続け企業としての存在価値を高めてまいります。

DMソリューションズは2024年9月15日で設立20周年を迎えます。この節目に初配を実施できることに喜びを感じておりますが、これはあくまでも通過点。「ロジスティクスとマーケティングの力で世の中に必要とされるモノと情報を届け、豊かな未来に貢献する」。この目的に向かって挑戦を続け、企業としての存在価値を高めてまいりますので、株主の皆様には引き続き温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



拡大ステップ

- 加速拡大できる事業ポートフォリオの確立
- 収益力、事業付加価値UP
- 既存2事業での収益確保・事業育成投資



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前期比
売上高	17,861	18,207	101.9%
営業利益	462	568	122.9%
経常利益	477	575	120.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	315	402	127.7%

- ☑ 前期比で約2%増収、各段階利益は、20%超の大幅増益。
- ☑ ダイレクトメール、インターネット、アパレルの3事業ともに利益成長。

2025年3月期 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	19,200	645	646	423

- ☑ 前期比で5.5%増収、13.5%の営業増益を計画。
- ☑ 5つのビジネスを展開する強みを生かし、シナジーによる事業ポートフォリオの拡大へ。

決算説明動画

業績や今後の取り組みについての決算説明動画を配信しています。ぜひご覧ください。



<https://irp-system.net/presenter/?conts=01ht2cb4sawp4161tnrejj7528>

IRメール登録のご案内

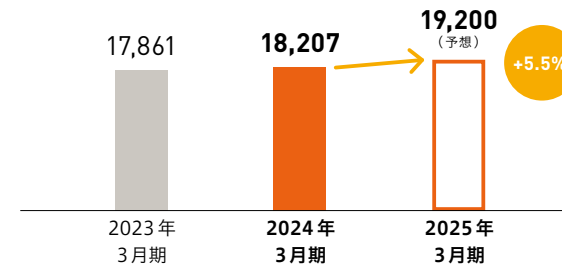
当社ではIRに関する情報をタイムリーにお知らせするIRメールを配信しております。ぜひ、ご登録ください。



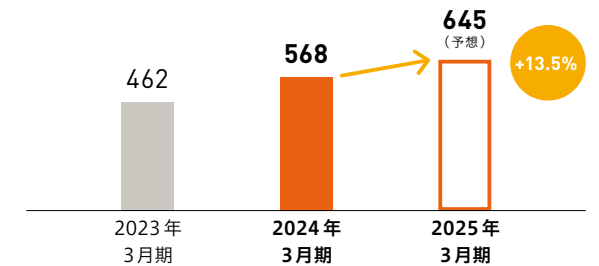
<https://www.magicalir.net/6549/mail/index.php>

(単位: 百万円)

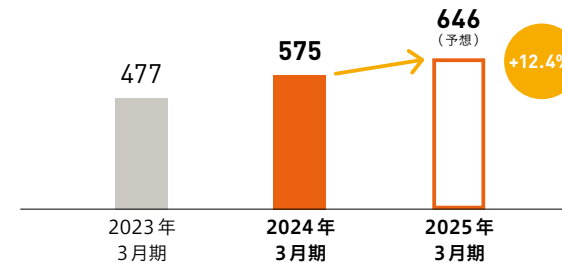
● 売上高



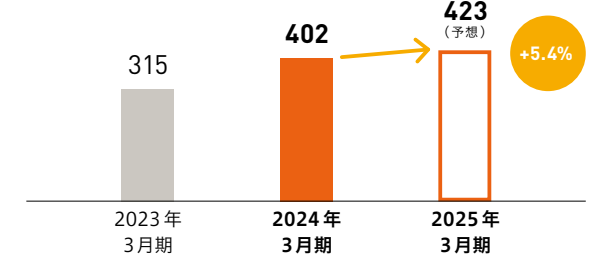
● 営業利益



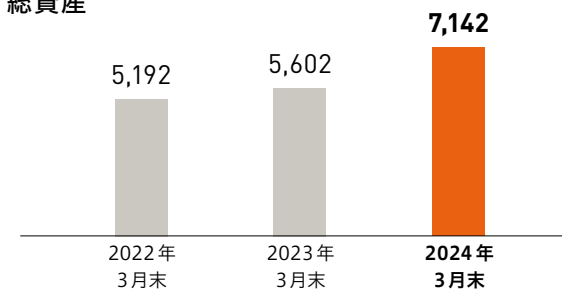
● 経常利益



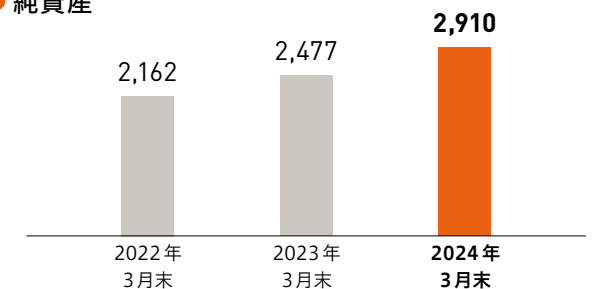
● 親会社株主に帰属する当期純利益



● 総資産



● 純資産

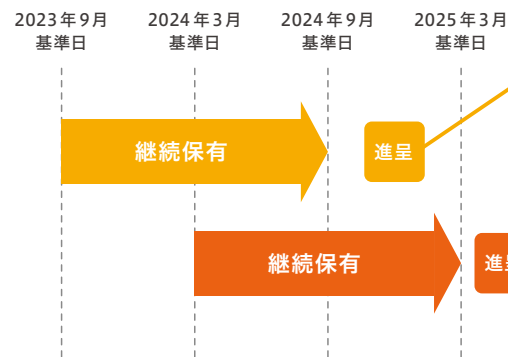


事業のトピックスやお知らせなど、株主様とのコミュニケーションコーナーです。



● 株主優待制度

1年以上継続して当社株式を
200株以上保有する株主様へ、
継続保有数量に応じて、株主優待品を年2回進呈。



基準日	株数	優待品
中間基準日	200株以上～	クオ・カード 3,000円分
	600株未満1年超継続保有	
	600株以上1年超継続保有	クオ・カード 6,000円分
期末基準日	200株以上～	マヌカハニー※ 1瓶
	600株未満1年超継続保有	
	600株以上1年超継続保有	マヌカハニー※ 2瓶

※1瓶4,000～5,000円相当

● 対象となる株主様

- 中間基準日については、9月末日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式2単元(200株)以上を保有されている株主様且つ、1年以上継続保有されている株主様。
- 期末基準日については、3月末日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式2単元(200株)以上を保有されている株主様且つ、1年以上継続保有されている株主様。

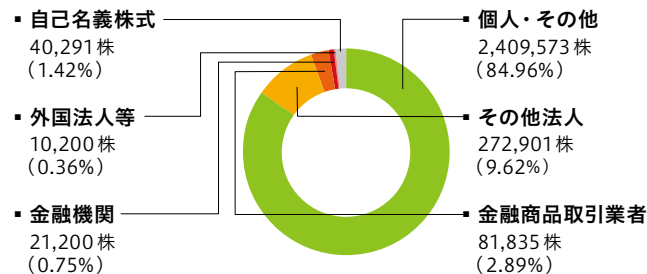
※今後、仕入れや在庫の状況によって商品が変わる場合がございます。

株式の情報 (2024年3月31日現在) Stock information

● 株式の状況

発行可能株式総数	8,800,000株
発行済株式総数	2,836,000株
株主数	1,945名

● 所有者別株式分布状況



● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (そのほか必要がある場合は予め公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL: https://www.dm-s.co.jp やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

● 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
花矢 卓司	919,800	32.90
福村 寛敏	578,700	20.70
アセットインクリーズ株式会社	260,000	9.30
中村 剛	83,300	2.98
丸谷 和徳	80,000	2.86
松本 和久	39,000	1.39
みずほ証券株式会社	38,300	1.37
ディーエムソリューションズ社員持株会	34,600	1.24
株式会社SBI証券	28,818	1.03
金子 主税	24,700	0.88

※持株比率は自己株式を控除したうえで、小数点以下第3位を四捨五入して計算しております。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/